



ロブテックスファスニングシステムは「摩擦型特殊ドリルとタッピング型ワンサイドボルトを用いた新たな締結工法」を開発。橋梁検査路や遮音壁などの付属物などでボルトナット接合もしくは裏ナット溶接部位などに有効な工法として、今後営業を強化していく。

新たな締結工法開発

橋梁検査路やガードレールに

鋼板への孔明け、バリリング加工を一工程で施工可能なフロードリルを用いて、シュアツイストにより部材を締結する。角・丸パイプへのバリリング加工が可能になり、従来の溶接ナットやタップ加工が不要となる。従来のアングルやC形鋼など開断面部材のボルトナット接合から、剛性の高いパイプへも採用できる。

フロードリルは、特殊ドリルを高速回転させ摩擦熱により孔明け・バリリング加工するもの。薄板、薄肉パイプへの接合工程の短縮、ナット溶接が不要で、組立の省力化

が可能だ。シュアツイストは下孔に雌ねじを形成させるタッピング型ワンサイドボルト。市販のインパクトドライバで施工可能、相手が雌ネジを立てるためナットが不要、独自のネジ形状により高強度、耐振動性、耐防水性を実現、高耐食表面処理により、防錆性能を確保できるなどの特徴がある。シュアツイストは既にEX Pメタル固定や防音壁、ガードレール隙間のカバー設置などで実績がある(写真)。

川邊社長は、「接合工法は溶接レスからナットレスの時代になる。拡販のため大学やメーカーと研究開発を進め、橋梁分野への本格的な実績拡大を目指していく」としている。

LFS 摩擦型特殊ドリル&タッピング型ワンサイドボルト締結工法 LFS

摩擦熱でバーリング加工

タッピング型ワンサイドボルト

下孔不要！バーリングタップ不要！

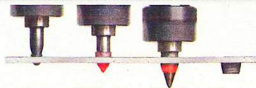
フロードリル+シュアツイスト=新しい締結工法



▶特殊ドリル加工により薄板の接合強度アップ！わずか2工程の締結工法！

▶角パイプ・丸パイプへ片側からボルト締結が可能！

▶各種ナットが不要！シュアツイストはタップ不要！



- タングステン製ドリルの摩擦熱でバーリング
- バーリング・タップのできないパイプに有効
- ブラインドナット・ナット溶接不要

アプリケーション例

- 橋梁検査路、手摺
- 防音壁、遮音壁
- ガードレールカバー
- 太陽光架台、パネル固定

株式会社 ロブテックスファスニングシステム

<http://www.lobfs.com>